

テーマはボランティア 「財力ないけど元気ある」

北区でフォーラム 高校生30人が意見交換

「高校生にできることは何か」と考えて話し合う参加者
—北区南方2のきらめきプラザで



「高校生だからできるボランティア」をテーマに語り合う「高校生フォーラム」が5日、北区南方2のきらめきプラザであった。国際医療NGO「AMDA」(北区伊福町3)の協

力で活動する学生ボランティア団体「AMD A中学生・高校生会」が主催し、県内外の高校生約30人が集まり、意見を交わした。

同会は県内外の高校生ら約40人で構成。AMDAの東北ボランティアツアーに参加したり、募金活動などに取り組む。「多くの高校生に活動を広めたい」とフォーラムを企画し、県内の高校に案内を届けて参加を募った。

この日は五つの班に分かれ、防災や復興支援などについて話し合った。参加者からは「高

校生には財力はないけど、元気がある」「東日本大震災の被災地の人と友達のような関係になりたい」などの意見が出た。私立岡山理大付高通信制課程の橋本佳奈さん(16)は「同じ高校生なのにいろいろな意見があって楽しかった。機会があったら被災地に行ってみたい」と話していた。

【五十嵐朋子】